

練習課題NO 10 設計課題「地域に開かれた絵本作家の記念館〔鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建〕」

1. 設計条件

- ある地方都市に、地域に開かれた絵本作家の記念館を計画する。
計画当たっては、次の①、②、③に留意すること。
- ① 敷地内に公園との出入口を設け、公園からもアプローチできるように計画する。
 - ② サービス出入口を設け、喫茶室(厨房)の搬出入及び職員の出入に配慮した計画とする。
 - ③ 公園の景観に配慮した計画とする。

(1) 敷地

- ア. 形状・道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の制限60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。
- ウ. 屋根は、勾配屋根とする。

(3) 延べ面積

- 必ず、240㎡以上、270㎡以下とする。
(ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しない。)

(4) 職員構成

管理責任者1名、事務員2名

(5) 所要室

設置階	所要室	特記事項
1階	玄関ホール	ア. 履物は履き替えないものとする。 イ. 出入口の幅の内法は、1,200mm以上とする。
	喫茶室	ア. 30㎡以上とし、厨房(10㎡程度)を設ける。 イ. 天井の高さは3m以上とする。
	事務室	ア. 15㎡以上とする。 イ. 受付カウンター及び湯沸コーナーを設ける。
	倉庫	・ 適宜設ける。
	便所	ア. 男女別に設ける。 イ. 車いす使用者用便所を1室設ける。 ・ 広さは心々2,000mm×2,000mm以上とする。 ・ 出入口の幅の内法は800mm以上とする。
2階	展示室	ア. 30㎡以上とする。 イ. コーナーとしてもよい。
	収蔵庫	・ 8㎡以上とし、展示室からも出入する。
	体験室	ア. 来館者が絵本作成体験を行なう。 イ. 30㎡以上とし、公園の景観に配慮する。
	図書室	ア. 15㎡以上とし、体験室にも出入りする。 イ. 公園に面してバルコニーを設ける。
	便所	・ 男女別に設ける。

(6) 階段、エレベーター及びスロープ

- ア. 建築物に、2以上の階段を設ける必要はない。
- イ. 建築物内に、必ずエレベーター1台を設ける。
 - ・ エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
 - ・ 駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくてよい。
 - ・ 昇降ロビーは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
- ウ. 建築物内又は敷地内の通路の計画において高低差を生じる場合は、必要に応じてスロープ(勾配は、建築物内1/12以下、敷地内1/15以下)とする。

(7) 屋外テラス、駐車・駐輪スペース

- ア. 屋外テラスは次の通り計画する。
 - ・ 敷地内に、まとまったスペース(直径5mの円が1つ入るスペースとする。)50㎡以上を設ける。
 - ・ 公園の景観に配慮した場所に計画し、喫茶室と一体的に利用できるよう計画する。
- イ. サービス用の小型乗用車1台分の屋外駐車スペースを設ける。
- ウ. 来館者用自転車5台分の屋外駐輪スペースを設ける。

2. 要求図面等

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しないでもよいものとする。

要求図面等 ()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建物との距離、建物の主要な寸法を記入する。 イ. 塀、植栽、公園出入口、屋外テラス、駐輪スペース等を記入する。 ウ. 屋外テラスには、16席程度のいす、テーブル、植栽を記入する。 エ. 室名を記入する。 オ. 所要室には、下記のものを入力する。 ・ 事務室に机、いす、ミニキッチン、受付カウンター ・ 喫茶室に12席程度のいす、テーブル ・ 展示室に展示ケース ・ 体験室に机、いす ・ 図書室に、いす、テーブル、書架 ・ 便所に洋風便器、洗面器 カ. 断面図の切断位置を記入する。
(2) 2階平面図 (1/100)	
(3) 立面図 (1/100)	・ 北側立面図とする。
(4) 断面図 (1/100)	ア. 切断位置は、喫茶室を含み1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかる程度のもとし、構造部材(はり、スラブ、地中ばり、基礎等)を記入する。 ウ. 建築物の1階床高、天井高、階高、軒高、最高の高さ屋根勾配、開口部の内法寸法及び室名を記入する。
(5) 面積表	ア. 建築面積、各階床面積及び延べ面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積は、計算式も記入する。 ウ. 数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(6) 仕上表	ア. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ. 内部(展示室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する
(7) 主要構造部材表	ア. 1階柱、2階大梁(それぞれ主筋が最も多いと考えられるもの)について、断面形状及び想定される鉄筋(主筋、帯筋、あばら筋)を図示し、寸法及び鉄筋径・数量コンクリートかぶり厚さを記入する。 イ. 外壁、2階床スラブについては、仮定断面寸法のみを記入する。

